

**2017年12月4日 掲載記事の訂正を致します。****<3 ページ下から12行目>**

要望の一件に関しても、国交省の石井啓一大臣は公明党である。

当該要望活動に当たって川合市長は中野県議と連絡を取り合い、高畑ふじみ野市長と連れ立って国交省に足を向けた。

何故、川合市長は公明党県議に相談しなかったのか…公明党県会議員と共に国交省を訪れたならば大臣との直結の話ができ、被災地区救済の事業は早急に手を打てた筈だ。

川合市長には協力的であった公明党議員に声も掛けず、要望という役割にそぐわぬ中野県議と行を共にし、力となる公明党県議の立場を蔑ろにした理由は何か。いずれにせよ、この男は全てに渡って気遣いのない人物なのだ。

信頼する筋の情報が錯綜し、以上の記事を訂正しお詫びします。

**「訂正記事」**

川合善明市長と中野英幸県議が話し合い、山口泰明代議士に国交省と財務省の橋渡し（仲介）を依頼。この時点で公明党は蚊帳の外となる。

11月9日（木）川合善明市長・高畑博市長・神山佐市代議士（国交省の玄関で市長らと合流）の3名で国交省・財務省に要望書を提出した。

中野県議は同行せず神山代議士は、川合・中野両氏の動きを後に知ったという。

## 「平成 29 年第 9 回定例会一般質問」

(12 月 8 日)

### 小林薫市議質疑

市長は 10 月 24 日に、国と県に行っていたというが、誰と何処に何をしに行ったのか。

### 市長答弁

10 月 24 日の公務について「新川越越生線建設促進期成同盟会」を構成する本市、及び、坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町・越生町の 3 市 2 町の首長が共同して、一年に一度実施している国と県に対する要望活動を行った。

具体的には、まず、さいたま市の別所沼会館にて埼玉県知事へ、その後、場所を移して、同市内にある国土交通省関東地方整備局にて、局長に新川越越生線の早期整備に向けた道路建設の促進について要望を行った。

※ ※ ※

台風の被災著しい寺尾地区に足も向けず、台風被害と関係なき案件で、埼玉県と国土交通省関東地方整備局へ行く。

被災者のことなど露とも考えぬ心なき川合市長の無神経な行動に、小林市議が激怒する。